

# 平成 30 年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	3	2-4~6

## 1. 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい発音、アクセントで英文を読む力をつける。</li> <li>・高校2年生に必要な単語力、文法力を身につけさせるとともに、本文内の文法事項等、基本的な学習内容を学ばせる。</li> <li>・教材を通じて異文化に触れ、様々な社会問題、人権について考えさせる。</li> </ul>
--

## 2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	ESSON6 : Flying Wheelchairs 中間テスト	・単元を通して、空飛ぶ車椅子のボランティア活動を考えさせる。 文法：現在完了形
	LESSON7 : Moving As One 期末テスト	・単元を通して、鳥や魚の群れの行動ルールについて考えさせる。文法：受け身
2 学 期	LESSON8 : Convenience Stores: the Keys to Their Success LESSON9 : Malala Yousafzai: Education Can Change the World 中間テスト	・単元を通して、コンビニエンスストアの成功の鍵について理解する。文法：分詞 ・単元を通して、マララ・ユスフザイさんの身に起こったことや、彼女の考えについて理解する。文法：比較表現
	LESSON10 : Ando Momofuku: the Father of Instant Noodles 期末テスト	・単元を通して、カップラーメンの発見や苦労話、またアイデアなどを考えさせる。文法：関係代名詞、関係副詞
3 学 期	LESSON1 : Staying in Space ※COMET II 使用	・単元を通して、宇宙での食事や体の変化の内容や理由について考えさせる。文法：S+V+that 節、S+V+O+that 節
	LESSON2 : Doraemon in the U.S. 学年末考查	・単元を通して、アニメ『ドラえもん』の日米での違いや日本のアニメやマンガが世界に広がっていることや、国によって文化や慣習に違いがあることを考えさせる。文法：S+V(want, etc.)+O(人)+to-不定詞

## 3. 評価方法・評価の観点

評価方法	考查による評価、提出物、授業態度等による総合評価
------	--------------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	英語を用いて、自分の考えなどを話したり、書いたりする。	英語を聞いたり、読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解する。	英語の学習を通して、言葉とその背景にあるものの考え方や文化などを理解し、知識を身に付ける。

## 4. 使用教科書・副教材

使用教科書	Comet English Communication I・II (数研出版)
副教材	ESSENTIAL WORDS①(中部日本教育文化会) 自作プリント、辞書、就職英語(中部日本教育文化会)